

事業名	生涯スポーツ・体力づくりの推進	評価実施者	所 属	社会教育課スポーツ推進室
		職・氏名		課長・竹谷和徳

主要事業の概要	開始年度	H13	根拠法令等	スポーツ振興基本計画（スポーツ振興法）			
	実施方法	■ 直接 ■ 委託		特定財源	■ 一般財源	□ 補助金等	□ 負担金
	目 的	各種スポーツイベントの推進、健康・体力づくりの充実化、各種施設の管理と有効活用を図り、「市民一人スポーツ」推進のために、(財)滝川市体育協会並びにその加盟団体と連携し、スポーツ施設の効率的な運営管理とサービス向上を図ることを目的とする。					
	事業内容	○各種スポーツ教室の開催（エアロビクス・ヨガ・幼児運動・水泳・スケート・スキー等） ○各種スポーツイベントの開催（コスモスマラソン・スノーレク・スポーツ塾・体力チェック等） ○(財)滝川市体育協会加盟団体による各種スポーツの実施・普及の支援 ○パンフレットの作成や広報誌などによるPRを行い健康増進を図る機会の提供					

事業費	区 分	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	特 記 事 項
	事業費(千円)	118,226	139,685	121,717	124,018	129,017	
	うち一般財源	114,812	137,379	120,559	124,018		

目標と実績	区 分		単位	H19	H20	H21	H22	H23	実績の評価	
	1	男子体力テスト (北海道数値以上の種)	目標				8	8		
			実績	種目			8	6	小学校男子は握力・上体起こし、女子は握力がともにH21に引き続き北海道数値以上。中学校は、男女ともにH21から引き続き握力が北海道数値以上という結果になった。 会員数が横ばい状態。新しいターゲットを獲得するため、新たなスポーツ教室の開催の検討。 H20からインターネットによる募集を行ったことで、千人規模となる。市民参加は横ばい状態。	
	2	女子体力テスト (北海道数値以上の種)	目標				6	6		
			実績	種目			6	2		
	3	スポーツクラブ会員数	目標				320	320		
			実績	人	204	294	318	290		
	4	コスモスマラソン市民参加者数	目標				160	160		
			実績	人	105	139	157	149		231

評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察							
1 必要性	9	市民ニーズや社会情勢に適合しているか						□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)						■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		○生活習慣病予防や運動不足解消など健康が重視される中、体育協会や体育指導委員(平成23年8月24日スポーツ推進委員と改正)、総合型地域スポーツクラブなどと連携を図り、いつでも誰でも気軽にできるスポーツ教室やスポーツイベントを開催し、市民の健康増進を図る機会を提供した。							
		○体力テストを平成21年から継続し、本年は全小中学校で実施した。							
2 有効性	8	目的に照らして効果的な手法であるか						□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		結果が十分に上がっているか						□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		○コスモスマラソンは、年々参加者数が増加しており、市民団体のボランティア参加も根付いてきた。しかし、市民ランナーの参加増が課題である。(市内小中高校生の参加呼びかけ等の検討が必要である。)							
		○幼児から高齢者まで幅広く参加しやすい各種運動教室を開催しており、定員以上の申し込みのある教室もあるが、男性参加者が少ないのが課題である。							
3 効率性	4	費用と成果のバランスは適正か						□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		○各種教室やイベントの参加料も従前と同様に参加しやすいように設定している。 ○市民ニーズにあった内容の工夫・改善を図っている。							

総合評価	合計	21	ランク	(A~E)	事業の今後の方向性	○新たなスポーツ教室の開催による会員増や利用者増を図る。 ○コスモスマラソンの市民参加増の工夫が必要である。
	↓	/25				
	100点換算	84	B			

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
 B : 71~85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
 C : 56~70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
 D : 41~55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
 E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目		点数	判 定						点検・評価に関するコメント	
1	必要性	9	①	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	・引き続き適切に進めて頂きたい	
			②	☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
2	有効性	8	③	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
			④	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
3	効率性	4	⑤	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
			合計	21 /25	100点 換算	84 /100	ランク	B		